

【小学校3・4年の部】

最優秀賞 京都市を安全な町にするために

朱雀第三小学校 上原 巧光さん

このマンガを見て、交通安全のことがよく分かりました。ぼくも交通ルールを守っていない人を見たことがあります。たとえば、おうだん歩道を信号が黄色か赤の時にわたる人、車やかんぼんを道いっぱいにおく人、せまい道を自転車や車で速く走ってくる人を見たことがあります。事故にならなかったけど、もし、事故になったら大変です。だからぼくは、事故にならないために何かくふうをしたらいいと思います。

ぼくの考えは、ひょう語を作ったり、子どものとび出し注意のかんぼんを作ったり、車がスピードを出せないように地面に立体てきな絵を描いたりするのがいいのかと思います。

その他にも、いつも学校のとう下校の時に地いきの人が見守りたいで、子どもたちを守ってくれることをありがたいと思っています。

ぼくのおじいちゃんもほかの地いき見守りたいをやっています。これからも元気で続けていってほしいと思います。

ぼくも交通安全ルールを守っていない人を注意して京都市を安全な町にしたいし、そうなるように、ぼくも交通ルールを守りたいと思います。

優秀賞 自転車のマナーを守ろう

高倉小学校 手塚 音色さん

私は、このお話を読んで放置自転車はちゃんと決まった場所に置いた方がいいと思いました。わけは、店の前、だれかの家の前などに置かれてたら、そこからでられなくなったりして大変だからです。私もたまに、こまる場所に置いてある自転車を見ます。そして、小さな子がとびだしてきて、あぶないなと思ったことがあります。やっぱり放置自転車等は本当にめいわくだなと思いました。

私も自転車によくのるので、みなさんがじゃまにならないような場所に置きたいです。

角では車も自転車も人も一旦止まらなくてはいけないことが勉強になりました。そして自動車のこともくわしく知れました。例えばスピードを守らなければならない角では、特に気をつけることを知れました。

あと、ポイ捨てもしないようにしたいです。そして、見のがさないようにしたいです。これからも自分でできることを活かしていきたいので、ぜひ、いろいろな人に伝えたいです。

優秀賞 みんなでルール守ろうよ

高倉小学校 人見 佳歩さん

一番心にのこったのは、あゆみちゃんが自分のお母さんと道で会う場面です。

なぜ心にのこったかという、自転車の二人のりはだめだとお母さんに言って、ちゃんとルールをまもっているからです。それから、ほかの場面でも歩美ちゃんは、車や、かん板に注意して歩いていいなと思いました。

わたしも、道を歩いたり、自転車で走ったりする時に、こまったことがあります。

たとえば、ながらスマホをしている人がいて、きゅうに止まったりしていてあぶないなと思ったり、路上ちゅう車をしている車の後ろから、自転車がぶつかりそうになっておどろいたりしたことがあります。

わたしは、みんながルールを守ると、安全に道を通ることができると思いました。

わたしができることは、歩いているときに歩道を広がって歩かないことや、左右の安全かくにんをすることです。そして、自転車で走る時には、自転車のマークがついている所を走ったり、スピードを出しすぎないようにすることです。

わたしは、このお話を読んで、お父さんやお母さんには、とくに、たくはいの人の路上ちゅう車をへらすためにも、さいはいたつにならないように、歩美ちゃんのお父さんみたいに、時間指定をしたらいいと教えてあげたいです。

二年生の時に、道を歩く人がこまらないように、自転車ポスターを作りました。少しでも、役に立つといいなと思います。

優秀賞 交通ルールについて

朱雀第三小学校 保福 大翔さん

僕は、中京区に住んでいるということもあり、このマンガを身近なものだと感じて読めました。特に、このマンガで感じたことは、角が多くて危ないことです。

そこで、僕は以下に見回り隊の大人たちの役割が重要であるかが、しみじみと感じ、登下校時にしっかりあいさつし、お礼を言いたいと思いました。そして、たとえ大人たちが見守っていても事故というのはなくなるので、一人一人が自転車や自動車に気をつけることが大切と僕は思いました。それにお互いが一つ一つのルールとマナーをしっかり守ることで大切な命が危険にさらされる事が少なくなります。そして、見回り隊の人たちに感謝する気持ちも忘れない事が大切だと思います。

たくさんの方が見守っていてくれていて、僕は京都に生まれて育ったことをよかったなあと思いました。